

7-a 展示場

購入を考えていたフネを初めて実際に見るのがポートショーであったり、ディーラーの展示施設であったりするケースは少なくないでしょう。

カートップボートやトレーラブルボートはそれほどでもありませんが、陸上展示されているフネというのは、ほとんどが大きく見えます。水に浮いているときには水中にある吃水下までまるまる空中にあるわけですし、ほとんどは船台に載ったフネを下から見上げるカタチになるわけですから、これで「思ったよりも大きい」と感じるのは、ある意味、ごく自然なことです。

それまで国産艇に乗っていた方にとって、欧米のフネのハルはずっと深いものに見えるかと思います。質量の違いが吃水の違いになっているということもありますが、国産艇は乾舷の低いものが多く、その分、ハルが浅い傾向にあったりするのも要因のひとつです。

なお、今どきそういつたことをする方はいないと思いますが、ハルを叩いて硬いとか柔らかいといっても、あまり意味はありません。樹脂の割合を増やせばFRPはカチカチに硬くなりますが、そんな脆いFRPなど、ボートのハルには使えません。また、最近の構造だと、船底とハルの上端となるデッキの端や舷縁はがっちり造りますが、舷側などは意外に華奢なものだったりします。舷側の平滑性が多少悪くても、硬そうな音がしなくとも、船底と舷縁ががっちりしていれば、おそらくそのフネは丈夫です。

ちなみに、最近多くなった濃い色のハルは、反射の加減もあって、同じ仕上げでも明るい色のハルより平滑性が悪く見えたりします。

船底形状を見て、それぞれの造作の意味が分かる方や、全体の形状からその走りの想像ができる方は、この機会にじっくりと船底を観察しておきましょう。

*

ひと昔前は「開けられるところは全部開けてみる」などといわれたものですが、そのフネを取材しようというならともかく、裏側の仕上げが見たいなら、数カ

所開いてみるだけで十分です。それよりも、ハッチを閉めた状態で船内床などの平滑性が保たれているかとか、開口部にきっちりとハッチが合っているかどうかといったことに注目しましょう。細かいところを見るならば、ハッチのエッジの切断面の仕上げでしょうか。品質管理というのは、むしろそういったところに表れるものです。

コクピットシャワー、ウォッシュダウン、ライブウェル、ウェットバーなどの水周りは、通常の展示状態では作動しませんから、これは見るだけ。使い勝手は、作動しなくとも想像できます。

できるだけ確認しておきたいのがエンジンルームです。船外機仕様ならば、エンジンは外付けですからあまり関係ありませんが、スターンドライブやインボードエンジンの場合、その整備性が気になる場所です。インボードエンジンはそのスターンチューブ（スタッフィングボックス）も日常点検の範囲です。

ただ、最近のエンジンは、日常的な点検さえしっかりとしておけば、そして、全開で延々走り続けるなどという無茶さえしなければ、そうそう壊れるものではありません。現代のフネには、ある種、確信犯的に整備性を犠牲にして、他の艤装やアコモデーションを充実させているものもあつたりするのです。

このあたりは、個々の価値観とか優先順位で判断すべきことかと思えます。

ヘルムステーションについては、実際にヘルムシートに腰掛けてみて、インストパネルを見渡してみて、自分の感覚に合うかどうかの問題です。視界の良し悪しなど、陸上展示状態の船上であれやこれや考えてもしょうがありません。航走状態と同じ視界が得られるはずなどありませんから。ただし、航法機器の取り



付け方法については、この時点である程度考えてみる必要があるでしょう。もし許されるなら、実際にメジャーなどで計測してみるのもひとつの方法です。

*

キャビンについては、ほとんどが好みの問題です。一般に、きちんとしたキャビンのついたフネならば、それほどでもない造作はないはずで、カタログなどで想像していたよりも狭かったり低かったりする個所は出てくるでしょう。また、どうみてもフネのキャビンのものとしては華奢という部分もあるかとは思いますが、問題を、それを許容できるかどうかということですから、あとは個人の判断です。

ただ、ヘッド/シャワーコンパートメントについては、ちゃんとその中に入って、きちんとドアを閉めてみましょう。なかには、「ちゃんとその中に入る」という時点で、すでかなりの苦勞を伴うものがあつたりします。

とはいえ、これもまた許容できるかどうかの判断になります。

*

展示されたフネは、係留状態のものに比べて、じっくりと落ち着いて船内を観察できるものです。

気に入ったところも、気に入らないところも出てくると思いますが、考えるべきは、気に入らないところ。それに対してどこまで妥協できるかが、そのフネを選ぶ上でのポイントでしょう。